

全国統一要求（抜粋）

1. 全ての公共工事現場で直接工事費分の単価支払いを実現
2. 碎石、砂利、砂、合材などの骨材運搬の収入も1日4万円以上に
3. 過積載復活させるな



発行所
全日本建設交運一般労働組合
東京都新宿区百人町 4-7-2
電話 03(3360)8021
毎月25日発行
1部 50円

全国的な統一闘争を目指して 使用促進闘争交流会議を開催



使用促進闘争の意義を学び、各地の取り組みを交流しました。（9月14日建交労中央本部）

全国ダンプ部会は、9月14日（金）に中央本部で「使用促進闘争交流会議」を開催しました。森谷部会長が、①全国部会として使用促進闘争を推進する意義（経済闘争、組織拡大）、②単価設定（直工費単価の確保、相場単価への波及）③会計処理、④発注者・元請交渉の構え、就労現場で

の経験などについて報告しました。その他、事前に集約した各組織の「運営アンケート一覧表」を用いて、合意書・協定内容、就労者からの請求の仕方などについても意見交換をしました。

の大半はダンプや建設労働者が生み出したものであり、積算単価の直工費程度（全国平均五四、三三〇円・4月時点）を要求しても何らおかしくはない。こちらの構えを正していくことが大切になっていると呼びかけました。

「神奈川県」では、組合員と議論し、福利厚生費の確保を

要求実現

過積載根絶、ダンプの交通安全を実現 全ての現場で直工費単価を確保しよう

全国ダンプ

全国ダンプ部会は、9月14日（金）に「使用促進闘争交流会議」を中央本部にて開催しました。全国ダンプ幹事会メンバー及び「秋田、埼玉北部、東海、北陸、滋賀、広島、沖縄」の各支部代表者、計19人が参加しました。会議は、森谷部会長から全国ダンプ部会が使用

含めて常用単価を4万8千円（税別）に引き上げました。「群馬」では、使用促進で合意した現場で下請自身も元請と交渉している。

円（税別）を確保しました。最近では下請が自らの交渉に活かせる為、歓迎されています。使用促進闘争が少なからず現場単価や相場業者に波及している状況が出されました。その他、台数確保や休業補償（雨天中止）の在り方などについても意見交換しました。



今年5月18日国土交通省で署名を手渡す森谷部会長（5月18日東京）

全国ダンプ

国土交通大臣宛署名 10月から取り組み開始

全国ダンプ部会は、毎年5月に国土交通省本省への要請

行動に取り組み、交渉の際には年明けから4月下旬に掛けて全国で集約した「国土交通大臣宛署名」を提出し、ダンプ労働者の諸要求を実現する為の交渉を実施して来ましたが、しかし、例年集約している到達数は、目標数（1人10筆）から大きくかけ離れています。国土交通省は、日本最大の公共工事発注官庁であり、建設業法やダンプ規制法の所管を含め、使用促進闘争などにも多くの影響力を持った行政組織です。さらに建設業界団体に対しても様々な指導力を発揮しています。この度は10月から国土交通大臣宛署名集約活動を開始します。（来年4月末日期限）各組織では1人10筆を目標にして、「低単価改善、使用促進措置の徹底、過積載根絶」の要求実現に向けて取り組みましょう。署名用紙は今月の機関紙と一緒に各事務所に送付します。

仲間が積極的に参加する 楽しいレク企画を開催



第2回拡大・交流バーベキューは今年も参加者から好評でした。(10月7日神奈川県・大和泉の森)

神奈川ダンプ

拡大・交流バーベキュー 組合員・家族30名参加

神奈川ダンプ支部では、昨年の大会から組合員が楽しく、積極的に集まるレク企画を重視しています。今年(10月7日)は、30度前後の10月とは思えない陽気な中、神奈川県大和市泉の森にて、神奈川ダンプ支部第2回拡大・交流バーベキューが開催され、組合員・家族・友人、約30名が参加しました。冒頭には、稲川委員長から参加者に対して組合員拡大の訴えと、県本部が取り組んでいる三昭運輸署名・島野署名への協力の訴えがありました。

乾杯の後、焼き肉、ステーキがドンドン焼かれ、パエリアにも挑戦しました。組合員からは、「多分、失敗するね」と言われながらも、出来てみると「うまい!」パエリア簡単!と賞賛の声が寄せられました。お次は焼きそばと焼きマシマロで子ども達のお腹はいっぱいになりました。あとはダンプ仕事の交流、組合活動の話など様々な話題で盛り上がり、「来年も元気で出るといいね」と言い合いながら解散となりました。開催に向けた準備は大変で

すが、今後も参加を重ね、神奈川県支部の恒例行事にして、全体の参加者も増やして、未組織のダンプの仲間と呼びかけをして、気軽に参加してもらえようようにしたいと考えています。



要求闘争と拡大で奮闘し、必ず前進しようと思統一しました(9月23日兵庫県西宮勤労会館)

開催した第23回定期総会で決定しています。各組織では、税金相談会や労災保険加入を呼びかけるチラシ作製をおこない、DMの送付準備や組合員との対話による対象者の掘り起し、名簿化をすすめています。

近畿圏内での運動強化
組合員拡大で奮闘しよう
兵庫ダンプ
兵庫ダンプ支部は、9月23日(日)に第16回定期大会を兵庫県西宮勤労会館で開催し、26名が参加しました。



職場闘争・使用促進の成果を力に拡大で奮闘しよう(10月8日大阪市内)

執行委員長 今村 信義
副委員長 島脇 信次
同 飯塚 浩道
同 林 久保 篤世
書記 長 久保 篤世
副書記 長 久保 篤世

関西ダンプ支部は、10月8日(月・祝)茨木市クリエイトセンターにて第45回定期大会を21名の出席で開催しました。前年比5名減の組織現勢で大会を開催し、使用促進では延べ三〇二日を実現させる事ができました。また、碎石職場では夏季一時金要求書を提出し、10万円/人の要求獲得を作り出しました。また、委託・請負で働く労働者である三和サービス分会ではサービスマン(組合員)自らが機器販売の先頭になり、会社の業績に大きく貢献、自らの売上げを伸ばし、実利を獲得し、

会社との信頼関係を築く中、5名の組織拡大(10月からの)大会方針では、組合員の政党支持・政治活動の自由を保障し、政治的自覚を高めるための学習強化、労働者・国民が主人公になる社会の実現をめざす政治闘争の必要性を確認し、仲間の切実な要求である仕事興しと使用促進闘争、適正単価収受、過積載の根絶、交通安全・安心の実現、企業組合運営をはじめ組織拡大・強化を柱に支部財政確立の為に奮闘する決意を固めた大会になりました。

経過報告・決算の承認と運動方針(案)・予算案は満場一致で採決されました。役員体制は、定数内で立候補者全員が信任されました。

役員体制
委員長 前村 和弘
副委員長 池辺 保明